



平成30年11月22日

福島市長 木幡 浩 様

福島市廃棄物減量等推進審議会

会長 樋口 良之



ごみ処理有料化の導入について（最終答申）

平成27年7月2日、本審議会に諮問された「ごみ処理有料化の導入について」は、平成28年11月29日に中間のとりまとめとして答申いたしました。その後も審議を重ねた結果、ごみ処理有料化はごみの減量が期待できる有効な施策であるものの、原発事故の影響が未だ残っている状況下において、市民に新たな負担を求めることは慎重に検討すべきであり、ごみの減量化、資源化には意識の啓発、有料化以外の施策を積極的に展開することが必要と考えます。

しかしながら、福島市のごみ排出量が多いことには変わらないことから、一定の目標を設定し、ごみ処理有料化の方針を決定することが必要を考えます。目標を達成できなかった場合は、ごみの減量化・資源化の手段として、また、受益者負担の公平性の観点から、ごみ処理有料化もやむを得ないものと答申いたします。

福島市におきましては、目標を達成できるよう、市民と協働し、さまざまなごみ減量化、資源化の施策を展開することを期待します。